

盛況に終わる！掬水夏まつり

掬水まちづくり協議会 たより

平成20年8月18日
掬水まちづくり協議会
第22号

大変暑い日に実施された「掬水夏まつり」は、協議会のテーマであります「みんなが元気で仲良く楽しいまちづくり」を掲げ、一人でも多くの方の参加を願って実施されました。反省するところもありましたが、おかげさまでまずは大成功でした。このような行事を通して地域の方々がつながり地域が発展するのだと思っております。今回の「掬水夏まつり」は、

去る八月二日に掬水まちづくり協議会の「みんなが元気で仲良く楽しいまちづくり」の一層の推進を図るため、「掬水夏まつり」を実施いたしました。心配しておりました天候も毎日のように夏日、猛暑日と続く中、朝七時の打ち上げ花火の合図を皮切りに、各方面の方々の協力によって万全の準備を整え、夏の夜空の下、盛大なる夏まつりが実施できました。このこと

伊賀町の宇佐美様を実行委員長として以下七名の実行委員により、何回も会議を開き、まつりの細かいところまで計画し、実行していただきました。このことは、これからの多くの行事を行おうとする協議会では大きな変化であり、喜んでいるところであります。

今回のたよりでは、実行委員長の挨拶と皆様にお世話を願ったチケットと夜店の販売状況のみを掲載させていただきます。各種会議での反省点につきましては次回とさせていただきます。

さて、「掬水夏まつり」の当日を振り返りますと、まず、各自治会において運営していただいた夜店においては、様々な趣向を凝らしていただいたおかげで活況を呈し、「掬水夏まつり」を盛り上げる原動力となったと思っております。



につきまして、心から大変喜んでいきます。ありがとうございます。

前半の演技発表においては、第一番の「つくし第二保育園」、「掬水幼稚園」の子ども達の演技で三百名を超える観客を集めることができ、「掬水夏まつり」を華やかに開始させることができました。その後の小学生の詩吟、キッズダンス、公民館活動発表の健康体操、カラオケについても盛況のうちにご覧いただくことができました。

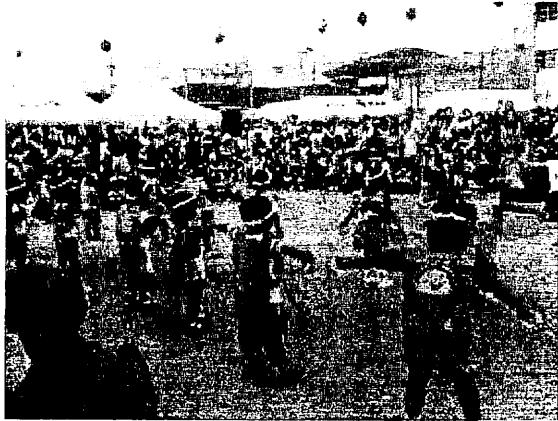
そして、他地区から招いた「しよんがいソラン」、「明和太鼓」では、目を見張るすばらしい演技に地域のみなさんを魅了できたものと思えます。続く後半の小学生による「しよんがい音頭」では約百五十名

今回の「掬水夏まつり」が成功裏に終わることができましたのも、自治会、体育委員、各種団体、消防団等の方々の惜しみないご協力の賜物であり、心より厚くお礼を申し上げます。また、今回の実行にあたりましては、掬水まちづくり協議会

夜店収支報告

商品	売単価	前売		当日売り		売上合計		仕入額	収支
		件数	金額	件数	金額	件数	金額		
おにぎり	150	236	35,400	21	3,150	257	38,550	39,502	-952
やきそば	150	342	51,300	85	12,750	427	64,050	38,311	25,739
かき氷	100	376	37,600	188	18,800	564	56,400	56,009	391
輪投げ	100	293	29,300	57	5,700	350	35,000	35,525	-525
スーパーボール	100	193	19,300	57	5,700	250	25,000	26,375	-1,375
ヨーヨー風船	100	226	22,600	24	2,400	250	25,000	16,000	9,000
フランクフルト	100	365	36,500	39	3,900	404	40,400	38,582	1,818
とうもろこし	100	218	21,800	80	8,000	298	29,800	30,992	-1,192
ポップコーン	50	273	13,650	-12	-600	261	13,050	7,496	5,554
綿菓子	50	0	0	168	8,400	168	8,400	1,270	7,130
駄菓子 他		0	0	0	81,449	0	81,449	68,005	13,444
合計		2,522	267,450	707	149,649	3,229	417,099	358,067	59,032
おしるこ	無料	0	0	0	0	0	0	43,445	-43,445
総合計		2,522	267,450	707	149,649	3,229	417,099	401,512	15,587

ほどの参加者があり、おかげで会場には八百名前後の方が集まりました。会場は大いに盛り上がりました。最後には一般の方々に加えて「しよんがい音頭」により「掬水夏まつり」は盛大のうちを終えることができました。



より委嘱されました私以外七人の実行委員（奥田、森田、伊藤、今井、神山、高田、橋本の皆様）の方々も大変多忙の中、微力な私を支えていただき、五月から計七回の会議を重ね、今回の実施にこぎつけていただきました。実行委員の皆様には、惜しみない努力をしていただきました。心より感謝申し上げます。



平和教育（八月六日） 戦争体験の講話より

今回は「あいさつシリーズ」はお休みし、八月六日に行われた掃水小学校平和教育での豊原町 樋口末子さん（左写真）の戦争体験講話について児童の感想文を載せさせていただきます。



四年 関岡 千尋

わたしは、ひぐちさんの話を聞いて、もし、わたしがせんそうのときに生まれてい

たら、お米だつてちよびつとしか食べられないなんていやだと思いました。それに、目の前で「助けて！」と言っているのに、助けられないのもつらいです。助けるのに、手をのばしたら、見つかつてしまうよ、ぼうくうごうの中にいる他の人の命までうばってしまふことになりまふ。「助けて！」と言っている人は、ひぐちさんの目の前で、B24のきかんじゅうでうたれて命がなくなつたと聞いて、わたしはなきそうになりました。ひぐちさんの話を聞いてわたしは、心の中で、「なんでせんそうがおこつたの。人の命をうばつてまでして、せんそうをやらなければいけぬの。」と思ひました。

B29がきたときには、空気がふるえると聞いて、「えー」と思ひました。ひぐちさんはいないのに、いっしょうけんめい話してくれました。思ひ出したら、そんなにうらやましいことばかりです。

四年 木原 かいと

ぼくは、ひぐちさんの話を聞いて、まずかわいそうと思つたのは、なんと五人家族で一日一合しか米を食べられないので、おかゆにするというのが、かわいそうと思ひました。次にこわいと思つたの

は、ぼくだんを落とされると空気がふるえて、げんかんの戸がゆがむというのが、ものすごくこわいと思ひました。一番かわいそうでかなしかつたのが、B24に乗っている人が、きかんじゅうをもつて、にげる人をころすところです。自分の近くで多くの人がころされたり、自分の目の前で「助けてください」と言いながら、ころされるのを自分が見ていたら、こわいし、かわいそうと思ひます。こんなことが二度とないように、せんそうをなくさないといけぬなと思ひました。

知って得る昔の話

シリーズ その四 松阪の榎田神社と 博多の榎田神社

天平十三年、仏教の渡来盛んにして、神も仏も神仏混合が流行し、榎田の大雷寺と榎田神社が建立されていきました。

戦国時代に織田信長の諸国侵攻により大雷寺は、火攻め戦略で焼き払われました。そのあおりを受け、榎田神社も類焼しました。その後、榎田神社は場所を換え、復興されました。大雷寺と榎田神社跡には「榎田大社」の碑が新しくできます道路JAから下七見の間、和屋町付近

に建てられています。

福岡博多には榎田神社があり、九州博多三大祭、「博多どんたく」「祇園山笠」、「博多おくんち」は有名ですね。福岡の榎田神社は、当地の榎田神社から分霊したといわれ、今も、福岡から榎田神社への参詣もあります。

榎田神社の境内には、本殿、拝殿のほか、英霊三十六柱を祭る「平和の礎」があり、毎年、一月に「どんど火」、二月に「厄年祓祭」、九月に「豊作祈願祭」、「七五三」、十二月に「大祓祭」が行われています。また、毎年九月の第一月曜日には、くしの日（九月四日）にちなんだ「櫛祭り」が行われ、三重県美容業生活衛生同業組合が感謝と技術の向上を願って参拝をしています。

伊賀町 三宅忠行

